

製品名: レチノイン酸受容体 α (12V14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe17035

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG (リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有)。短期保存は $+4^{\circ}\text{C}$ 、長期保存は -20°C で保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,FC 1:50-1:100
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	RARA
別名	RARalpha1; NR1B1; RAR-alpha; Retinoic acid receptor alpha; RAR;
遺伝子 ID	5914.0
SwissProt ID	P10276
免疫原	ヒトレチノイン酸受容体 α の合成ペプチド

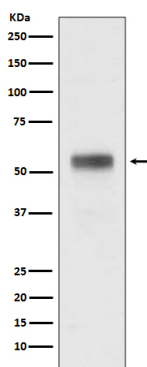
背景

レチノイン酸受容体 (RAR α , β , γ) およびレチノイド X 受容体 (RXR α , β , γ) は、RAR-RXR ヘテロダイマーまたは RXR ホモダイマーとして機能する核内受容体です。KMT2E/MLL5 を含むクロマチン複合体をリクルートすることで、リガンド依存的に標的遺伝子の発現を制御します。レチノイン酸誘導性顆粒球形形成を媒介します。レチノイン酸受容体 (PubMed:19850744、PubMed:16417524、PubMed:20215566)。レチノイン酸受容体は、リガンドであるオールトランス型または 9-シス型のレチノイン酸に反応して、ヘテロダイマーとして標的応答配列に結合し、様々な生物学的プロセスにおける遺伝子発現を制御します (PubMed:28167758)。RXR/RAR ヘテロダイマーは、DR1-DR5 として知られるタンDEM 5'-AGGTCA-3'部位からなるレチノイン酸応答配列 (RARE) に結合する (PubMed:28167758)。リガンド非存在下では、RXR-RAR ヘテロダイマーは、ヒストン脱アセチル化、クロマチン凝縮、および転写抑制を誘導する転写コリプレッサーを含む多タンパク質複合体を形成する (PubMed:16417524)。リガンド結合により、コリプレッサーは受容体から解離し、転写活性化コアアクチベーターと会合して転写活性化を引き起こす (PubMed:9267036、PubMed:19850744、PubMed:20215566)。ヒストン脱アセチル化酵素との複合体形成は、RARE DNA エlementへの結合阻害および転写抑制につながる可能性がある (PubMed:28167758)。転写活性化および RARE DNA エlementの結合は、転写因子 KLF2 (PubMed:28167758) によってサポートされている可能性があります。RARA は、精子形成中のレチノイン酸誘導性生殖細胞発達の調節において重要な役割を果たしています (類似性による)。減数分裂前期初期における初期精母細胞の生存に役割を果たしています (類似性による)。セルトリ細胞では、減数分裂前期初期精母細胞の生存と発達を促進する可能性があります (類似性による)。RARG と協調して、骨格成長、マトリックス恒常性、および成長板機能に必要です (類似性による)。RXRA とともに、microRNA-10a の発現を正に制御し、それによって血管内皮細胞における脈動剪断応力に対する GATA6/VCAM1 シグナル伝達応答を阻害します (PubMed:28167758)。HDAC3、HDAC5、HDAC7 コリプレッサーと関連して、microRNA-10a の抑制に役割を果たし、それによって炎症反応を促進します (PubMed:28167758)。

研究分野

がんの経路;急性骨髄性白血病;

画像データ



MCF-7 細胞溶解物中のレチノイン酸受容体アルファ発現のウェスタンブロット分析。